

ムーディーズがブラジルの格付けを引き下げ

2015年8月12日

<ブラジル格下げ>

格付会社ムーディーズ・インベスターズ・サービス(以下、ムーディーズ)は8月11日(現地、以下同様)、ブラジルの自国通貨建てと外国通貨建ての長期債務格付けを「Baa2」から「Baa3」に引き下げました。投資適格級としては最低水準となりますが、格付け見通しは「安定的」とされたため、向こう1年程度の間はこの格付けが維持される見通しです。

ムーディーズは声明で、「2015年と2016年を通して経済環境は低調で、政治情勢も比較的不安定な状態が続くとみているが、現時点では、ブラジルの投資適格級の格付けが脅威にさらされるほど債務をめぐむ状況が著しく悪化するとは予想していない」との見解を示しています。

今年のブラジル経済は1%以上のマイナス成長が見込まれています。歳入は今年に入って急減しており、政府は7月22日に、2015年-2017年の対GDP(国内総生産)比のプライマリー・バランス黒字目標を引き下げ、2015年は1.1%から0.15%へ、2016年は2.0%から0.7%へ、2017年は2.0%から1.3%へ引き下げました。また、インフレ率が目標値を上回っているため、中央銀行は7月29日の金融政策委員会(Copom)で、政策金利である翌日物金利の誘導目標を0.50%ポイント引き上げて14.25%としました。

各格付会社のブラジル長期債務格付け

(2015年8月11日時点)

	自国通貨建て	外国通貨建て	見通し
ムーディーズ	Baa3	Baa3	安定的
S&P	BBB+	BBB-	ネガティブ
フィッチ	BBB	BBB	ネガティブ

(出所)各種データを基に大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<市場の反応>

ムーディーズの格下げは、8月11日の市場引け間際に発表されました。発表前のブラジル市場は、中国が人民元の切り下げに踏み切ったことを受けて、ブラジルにとって最大の貿易相手国である中国からの需要が低迷するとの懸念が強まったことで、レアルは下落していました。しかし発表後は格付け見通しが「安定的」とされたことを受けて通貨、株価ともに反発し、下げ幅を縮小しました。

<今後の見通し>

政府はレビ財務相を中心に財政再建を進めており、歳出凍結や金融機関の利益に対する税率の引き上げなど具体的な財政再建法案を成立させ、一定の成果を挙げています。また、中央銀行はインフレを沈静化させるために高金利政策を採っており、今後しばらく継続するとみられます。

「金融引き締め」と「財政緊縮」は短期的な経済成長を犠牲にしますが、中長期的にブラジルが発展するための基盤作りとして必要な政策であり、投資家の信認を得るための重要な取り組みと思われます。現在はファンダメンタルズ、政局の動向など、ブラジルの不透明要因が払拭されていないため、短期的に市場は大きく変動する可能性があります。中長期的には現状の政策が実を結び、成長軌道に回帰することが期待されます。

なお、ブラジルの格付けに関しては、7月28日にスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)が格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げています。S&Pの現在の格付けは「BBBマイナス」となっており、S&Pの今後の格付け動向には注目が集まります。

以上